

2013年1月5日

発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市菅野2-14-14-206  
Tel/fax 047-323-3640  
E-mail  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ「清水みな子」で検索

日本共産党市議会議員

# 清水みな子

あおぞらメール No.60



## 住民のみなさんの要望聞き 実現のために今年も頑張ります

昨年夏から取り組んだ「市政アンケート」には、640通の回答を寄せていただきました。その要望をもとに、来年度予算要望247項目にまとめて、11月28日、大久保市長に手渡しました。

懇談のなかで、とくに市民からの要望が強い、特養ホーム・保育園の建設、住宅リフォーム条例の制定などを求めました。それに対して、市長は「財源は年々悪化している

### ▽保育園の増設

―6箇所建設予定

るので、現状維持が満額回答だと思う。市庁舎建替えもあり、議員の定数削減などで財源をつくりたい」「公民館などの利

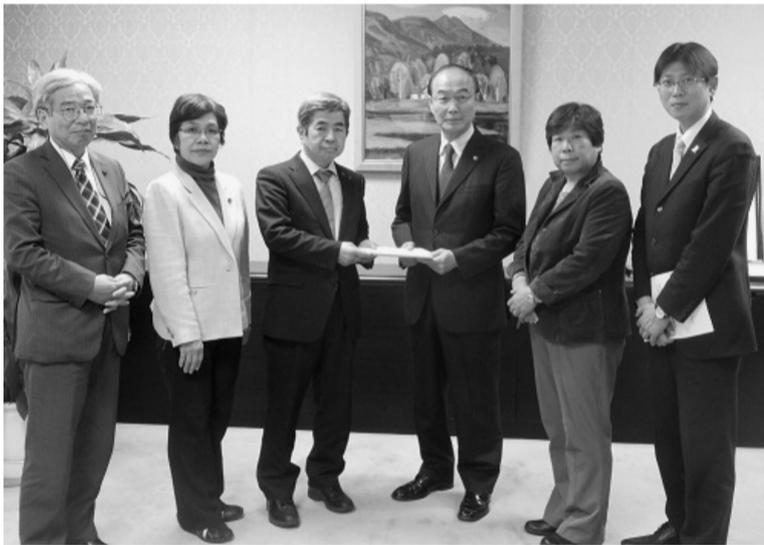
用料の見直しもしていきたい」  
12月市議会（11月30日）  
12月12日）では、保育園の待機児解消のために、大和田に1箇所（60名定員）の建設補助金が計上され

### ▽市庁舎の建替

―意見交換会開く

ました。今後の計画として、応募した保育園のすべてを建設するとし、総武線沿線などにさらに5箇所の整備を予定している

と明らかにしました。12月1日現在で、1190人が待機しています。  
11月17日、市議団主催で、市庁舎建替え問題での意見交換会を開きました。金子市議が現在の到達点を報告。千葉県自治体問題研究所理事長の田口さん（大正大学名誉教授）から寄せられた所見を読み上げて、討論しました。「一度広報でアンケートがあったが、あの広報ではよくわからない」「情報不足が足りない。市民の意見をよく聞くという姿勢が市にはない」「総合庁舎方式は問題が多いと聞いている」「厚労省の方針でいくと、超豪華な市庁舎になるのではないかなど意見が出されました。今後、基本構想策定委員会が2月に答申を出し、パブリックコメントに取り組みます。市議団でも検討会を開きます。



### 【地域の要望より】

- ◎大門通り一車両の時間制限をしてほしい
- ◎市川小側の道路で危ないところがある。改善してほしい
- ◎京成菅野駅にエレベーターをつけてほしい
- ◎スーパーヤオコー脇のカーブ、はみ出す車が多く危ない。中央にデコボコ線かカーブミラーをつけてほしい
- ◎中国分小、西部公民館周辺の主要な道路は「タバコポイ捨て禁止区域」としてほしい
- ◎北国分から市川駅へのバス運行を改善してほしい。バス便があまりにも悪い
- ◎北国分ベルクスとユアーのT字路に信号機をつけてほしい
- ◎八幡小前の道路は歩行者の安全確保を
- ◎東菅野ふくしま電気前の横断歩道をずらしてほしい



京成菅野駅

# アスベスト被害者早期救済 請願が全会一致で採択



12月市議会で、千葉土建市川支部が提出した「建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める」請願が環境文教常任委員会で全会一致で採択され、本会議でも可決されました。12月5日には、アスベスト訴訟（被害者・家族が国とメーカーへの賠償を求める）が東京地裁で勝訴判決を勝ち取りました。（写真は赤旗より）



松丸福祉部長（右）に署名を提出する市議団と特養ゼロの会

# 特養ホームを建設して 署名9085名分を提出

市川市の特養ホーム待機者ゼロをめざす会は、集めた署名を4回に分けて提出し、累計9085名分となりました。各地域での署名活動は話題となり、選挙中に街頭演説をしているところへやってきて「母の面倒をみるのに仕事をやめました。面倒をみている方が倒れてしまう。早く特養ホームを作ってほしい」と切々と訴えられました。また、特養ホームだけでなく、保育園が足りないことも深刻です。署名活動でも「行徳地域にほしい」と

働くママたちから、要望されたと聞いています。4回目の署名提出は12月28日。国交省が曾谷6丁目の代替地を取得するかどうか、市が回答する×切日でした。対応した福祉部次長、外環推進担当室長は、市は27日付けで、本市として取得要望のない旨を回答したということでした。さらに、市が国交省に照会した内容について聞きました。

10月31日に副市長と懇談し要望した内容で、①社会福祉法人が土地を取得しやすくするための土地の評価方法、②住宅用地として整備した除去の費用負担、③土地処分の方策について。①は財務省と協議、②は国が費用を持つことはない、③は一般競争入札として告知するというものでした。

今後の建設計画はいつ頃か、施設を増やすと介護保険料が高くなるという根拠を示してほしい、など懇談しました。

会では、今後も国交省・財務省との交渉をおこなうことにしています。待機者ゼロに向けて、取り組みを強化します。

## 《主な活動報告 11～12月》

### ☆11月13日 国への予算要望

党千葉県委員会主催で、2013年度予算に関する要望書を提出し懇談しました。私は厚労省（生活保護、子育て支援）との懇談に参加。全体集会では、田村智子参議院議員が「子育て新システムは保育ニーズに答えていない。保育所設置予算が不透明。妊婦健診の無料化など、地方議会で無料継続を要求してほしい」と国会情勢を報告しました。

### ☆11月17日 生活と健康を守る会学習会

住む場所がない方が生活保護を受けて自立をめざしNPO法人SSS施設に入居。その施設が「貧困ビジネス」と言われています。八千代荘の4人が「生活保護費ピンはね訴訟」を提訴し、弁護を担当する常岡弁護士が問題点を報告し討論しました。

### ☆11月17日 国保改善運動学習交流会

丸山県議が「都道府県広域化をめぐる県・国の動き」と題して講演。市政アンケートでも「国保税が高い」という声が圧倒的、所得が減っているのに国保税が引き上げられ、滞納が増えているという悪循環となっています。さらに、滞納処分のための差し押さえ件数が増え、市川市は全県トップの差し押さえ額です。

### ☆12月2日 市川市母親大会

54回市川市母親大会のオープニングは原木太鼓の皆さんです。養護学校の卒業生が元教師の指導を受けて熱心に取り組んでいます。温かい拍手に包まれました。

